

地域おこし協力隊の活動事例（庄原市）

庄原市全域

【活動期間】

平成29年4月～

【活動分野】

木の駅プロジェクト事業の推進

【活動内容】

「木の駅」とは、山で放りっぱなしになっている木（林地残材）を地域通貨と交換する仕組みです。

このプロジェクトを市内全域へ拡大するための活動を行っています。

【ポイント】

プロジェクト開始から平成30年度末までに、2,480トンの林地残材が出荷され、山がきれいになりました。

また、林地残材は、14,792,000円の地域通貨と交換され、地域経済の活性化に貢献しています。



東城町の木の駅をテーマに、県立広島大学生命環境学部が授業を行いました。
木の駅に出荷された林地残材をチップに加工する工場を見学し、山の資源利用を検討するワークショップを行いました。